

■お手入れのしかた

- 1 器具お手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。消灯直後は器具が高温となっていますので、しばらく（20～30分程度）時間をおいてから行ってください。
- 2 器具の外面やガラスの外面の汚れは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭きとってください。
- 3 ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。器具内への浸水や器具の破損の原因となります。



保守 接触禁止

■使用上のご注意

- LED素子にはバラツキがあり、同一の形名の器具においても光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 安全上LED光源を直視しないでください。
- LEDモジュール・電源の交換はできませんので、分解しないで下さい。
- 万が一、前面カバーが破損した場合には、必ず器具交換を行ってください。そのまま使用しますと機能を維持することができず早期寿命や感電・火災の原因となります。

■保守・点検のために

(施工記録) 保守のために、下表内容を確認の上、適切な保守用品をお求めください。

器具形名	保守作業上の注記
取付年月日	

**保証について**

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分以下の期間とします。

**修理を依頼されるとき**

- ・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

**保証の免責事項**

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (2) お買い上げ後の取付け場所移設、輸送、落下等による故障及び損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
  - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
  - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
  - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
  - (7) 日本国以外での使用による故障及び損傷
2. 離島及び離島に順ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

**部品について**

- ・修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ・補修用修理部品の保証期間  
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。補修用部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード、グローブは含まれません）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点はお買い上げの販売店へご相談ください。

日本国内専用  
Use only in Japan

対象機種	SBL06A-N	SBL06A-M	SBL06A-W
------	----------	----------	----------

このたびは横浜機工LED投光器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。◎照明機器の工事に関しては、電気工事士の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ **施工上のご注意** ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
- 施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。
- 調光制御装置には接続しないでください。誤動作、火災の原因となります。
- くぼ地などで水のたまる場所には使用できません。感電の原因となります。
- 1人で施工しないでください。器具落下、けがの原因となります。

●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。〔D種（第三種）接地工事〕

●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。

●この器具は、クレーン設置場所や、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所では使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁不良、器具落下の原因となります。

●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

●海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地では使用しないでください。部品の腐食の原因となります。

●塩素を使用するプールでは使用しないでください。部品の腐食や器具の落下の原因となります。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- 周囲温度は、-20℃～35℃以外では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。
- 風速6.0m/sを超える風の吹く場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 積雪100cm以上の場所では使用しないでください。そのまま使用されず落下の原因となります。（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

■お客様へ **使用上のご注意**

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

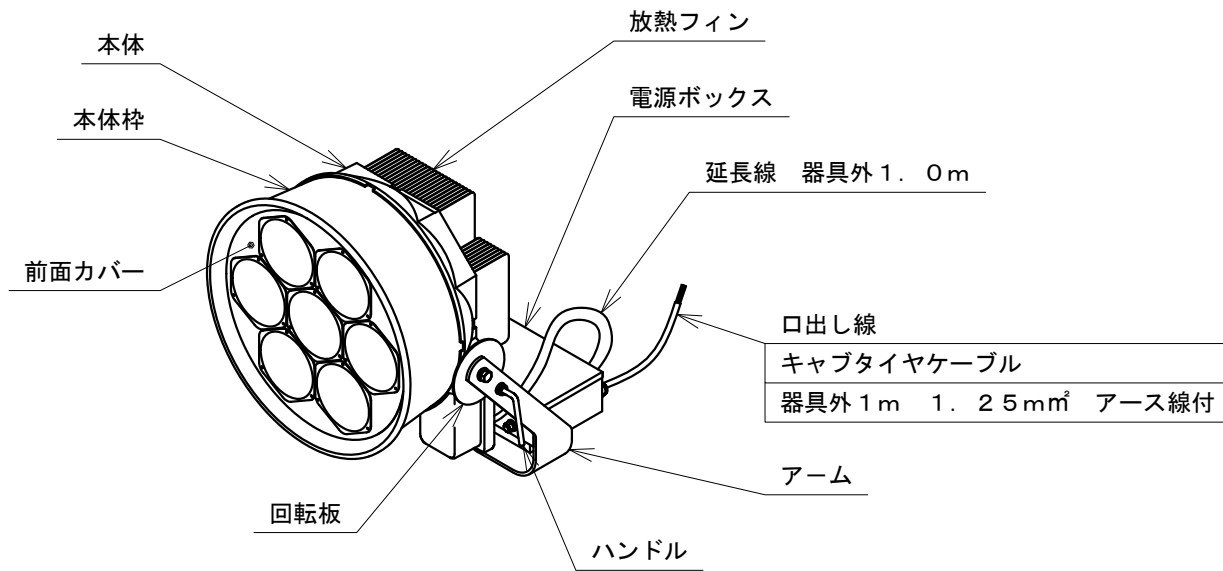
**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
- 器具を掃除する際は乾いた布か、水に浸した布をよく絞って拭いてください。
- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください傷つけたり、腐食の原因となります。
- 器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電等の原因となります。

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。（定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。）※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

●点検せずに長期間使用続けると、まれに、発煙、発火、感電などにいたる場合があります。

## ■各部のなまえ

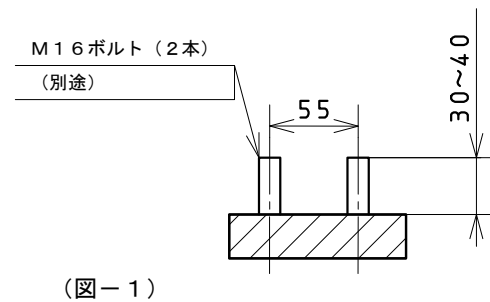


【付属】天井取付用ワッシャ (2枚)

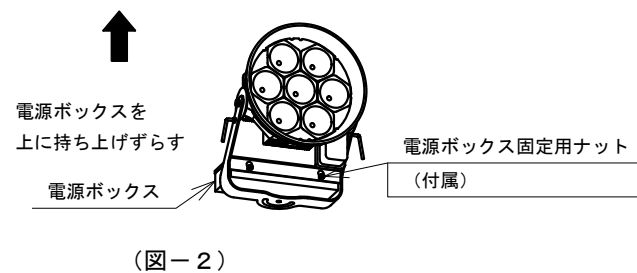
器具形名	種類	配光	色温度	定格電源電圧	入力電流	消費電力	定格周波数	塗装色	器具質量
SBL06A-N	耐塩形	狭角	昼白色 (5000K)	200V	3.0A	594W	50/60Hz	本体: 黒色	25.5Kg
SBL06A-M		中角		/	/	/		本体枠: クリア	24.8Kg
SBL06A-W		広角		242V	2.5A	590W		電源ボックス: 灰色	24.6Kg

## ■器具の取り付けかた

- 器具質量および風圧荷重に耐えるようにM16ボルト2本を用意してください。(図-1)  
●箱から器具を出す時に放熱フィンを曲げないように注意してください。

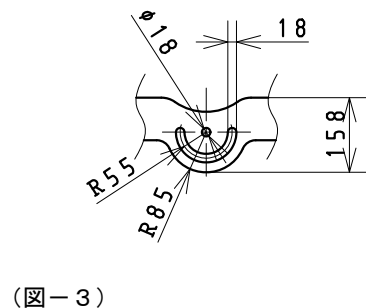


- 電源ボックスの固定用ナットを緩め、アームから取り外してください。  
電源ボックスは器具近傍に仮置きしてください。(図-2)



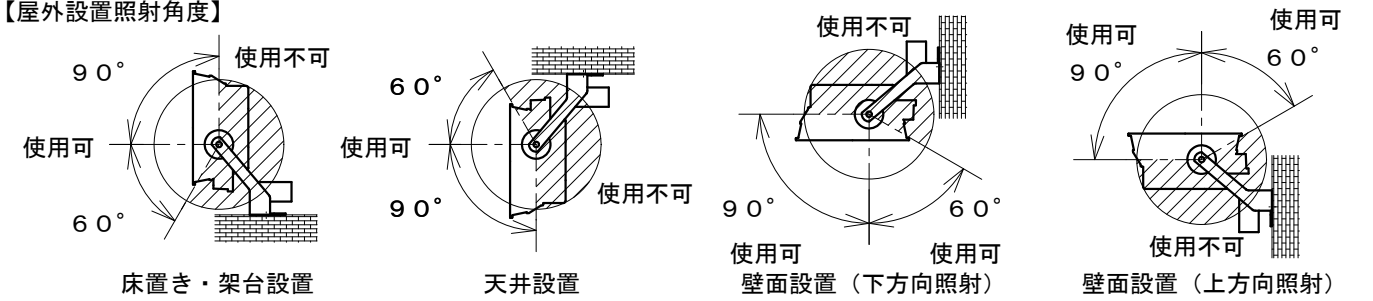
- 器具をボルトに固定してください。  
アームに取付穴が(図-3)のように設けてあります。  
適合ナット(M16、別途)でゆるみのないよう平座金(別途)、バネ座金(別途)を入れて締め付けてください。  
●取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

- 器具の照射角度を調整してください。  
鉛直角は、ハンドルをゆるめて回転板の角度を合わせ、ハンドルを確実に締め付けてください。  
●取付に不備がありますと落下の原因となります。  
\*器具の取り付けには方向性があります。  
3/4ページ記載の【屋外設置照射角度】・【屋内設置照射角度】を参照ください。

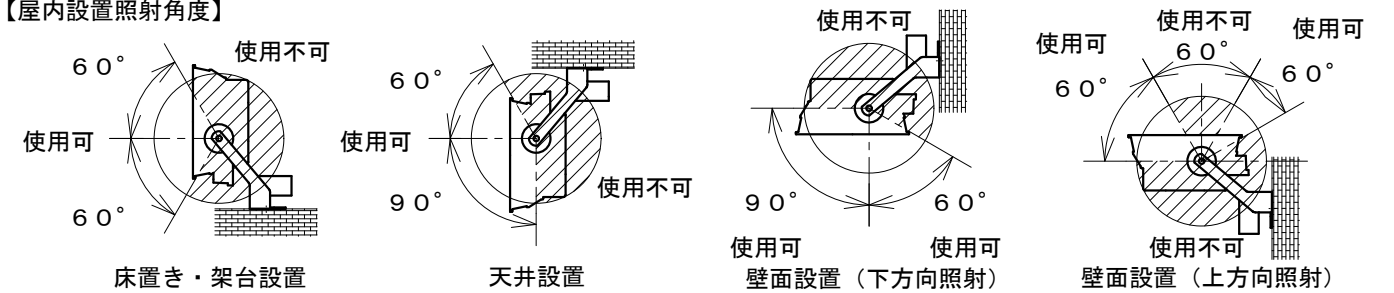


## ■器具の取り付けかた (続き)

### 【屋外設置照射角度】



### 【屋内設置照射角度】



- 電源線、アース線を器具の口出し線(アース線付き)にスリーブなどを用いて接続してください。

電源線は、余裕をもって準備してください。  
絶縁処理は自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて仕上げ、導体部分のみではなくシース(外被)部も含めて行ってください。

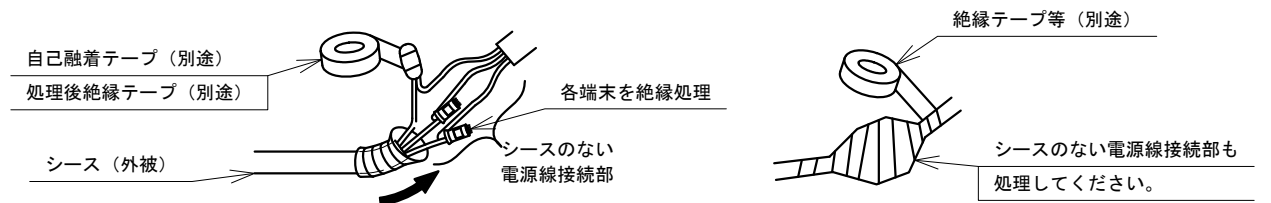
アース線も同様に、シース(外被)部を含めて行ってください。

アース線はD種接地工事を行ってください。

口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈12条に従ってください。

●電源線と口出し線との接続は、スリーブ等により確実にし、自己融着テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。

●不十分な場合は、電線からの浸水による絶縁不良や、不点灯の原因となります。



- 電源ボックスをアームに取り付け、電源ボックス固定用ナットを締め直してください。  
天井取付の場合、付属の天井取付用ワッシャを取り付けて電源ボックス固定用ナットをしめ直してください。

